

## それでも青春は美しい!

「答えのない問いに悩んでしまう。それは、結局、若いからそうなるのだと思います。達観した大人は、そのようなことは初めからしません。

ですから、私は青春とは、無垢なまでにものごとの意味を問うことだと思います。それが自分にとって役に立つものであろうとなかろうと、社会にとって益のあるものであろうとなかろうと、『知りたい』という、自分の内側から湧いてくる渴望のようなものに素直に従うことではないかと思うのです。

そこには、挫折や悲劇の種がまかれていることもあります。未熟ゆえに疑問を処理することができなくて、足元をすくわれることもあります。危険なところに落ちてしまうこともあります。でも、私はそれが青春というものだと思うのです。」

かなり古い本ですが、2008年以來累計発行部数100万部を超えた姜尚中著『悩む力』（集英社新書）の中の『青春』は美しいか』の一節です。最近書店で目に付く「〇〇力」本の先駆といえるでしょう。

さて、今春の卒業生もそうですが、不合格通知をたくさん受け取ったりなどと様々な挫折を乗り越え、最後まで悩み、もがき、苦しんで、手にした合格は本当に美しいと思います。また、合格報告の電話を受けて、職員室で拍手が起ったり、直接西高へ合格の報告にやってきて、生徒が涙を流すシーンもあったり…。本当に美しい光景を34回生と共有できたことに、私も感謝しています。これこそ青春の1ページでしょう。もちろん、この春からの進路先が、34回生みんながみんな第一志望というわけではないのです。しかし、そこに向かって努力したことは、人生における大きな財産になるでしょうし、納得して次の進路先で頑張る原動力になるのではないのでしょうか。35回生の皆さんとも、1年後に同じような光景を共有したいと思います。

ここで、話は変わりますが、**Next11** [ネクスト・イレブン] という用語を発表します。Nextの意味には、「西高卒業後の次の進路」という意味と「第一に国公立大を目指す、その次に進学先として考える私立大学」という2つの意味があります。具体的には、**関関同立・産近甲龍**（関西大・関西学院大・同志社大・立命館大、京都産業大・近畿大・甲南大・龍谷大の8大学）に、**大阪経済大・大阪工業大・関西外国語大**を加えた、11大学を言います。大阪経済大は、みなさんもお存じのとおり、西高からの合格者数は全国ランキング2年連続2位、西高大学進学者の16%、約5人に1人が進学する、就職に手厚い指導を行う大学です。大阪工業大と関西外国語大は、理高文低といわれる中、またグローバル化がさげばれる中、西高生の進学先として、一つの目安となる人気大学です。今年もこの11大学の合格者は合計100名を超えています。

ですから、西高生のみなさんも進路を考えるうえでは、国公立大に加え、私立大なら**Next11**を中心に、大学選びをしていくものだと考えてください。

みなさんの進路実現に向けて、ともに頑張っていきましょう。

## 進路指導部とは

進路指導部は、進路ガイダンスや進路講演会の企画・運営、進路情報の提供、インターンシップ・就職指導など多岐にわたりますが、みなさんの進路実現のサポートをする部です。担当者は以下の通りです。

進路指導部長	Y・M
進学・就職担当	I・S
進学・就職担当	J・A
就職担当	Y・N
就職支援員	M・S



## 合格体験記

次の文章は今春本校を卒業した第34回生が書いてくれた合格体験記からの抜粋です。今後の充実した学校生活を送るために、また進路実現するために参考にしてください。

### 進学 関西学院大学

12月ごろになって成績が伸び悩んでいたときに、模試の会場で偶然中学時代の友だちと再会しました。その友達も同じ大学を目指していたため、それからは休日と一緒に勉強するようになりました。お互いにわからないところを教えあったり、問題を出し合ったりし、最後には志望校に合格することができました。自分1人では途中で諦めてしまったかもしれないけれど、競い合える相手がいるだけで頑張れるものだとわかりました。

### 進学 関西大学

サッカー部の活動を冬まで続ける方を選びました。受験勉強のことを考えると、かなり厳しい選択ですが、夏休みを勉強だけでなく部活もしながらという自分を追い込む方を選びました。だから夏休みは本当にハードな日々を送りました。部活をしていない人たちは1日に10時間とか勉強していたと思うけれど、私は部活から帰ってきて1日2、3時間が限界でした。でもその2、3時間は絶対怠ることなく毎日やりました。部活が休みのときは10時間ぐらいやっただと思います。私は時間より毎日やるという継続の方が大切だと思います。

### 「あすなろ」の名前の由来

人にはそれぞれに将来の夢や希望があります。「進路」とは、将来こんな生き方をしたい、こんな職業に就きたいという自分の将来像に向かって進むべき道のことです。自分の将来像を実現していく強い思いを、ヒノキ科の植物**あすなろ**の「明日はヒノキになろう」という名前の由来に託しています。